

# 主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業改善

ポイントは、『いかに子どもたちのやる気を引き出すか』にあります。

## 3つのチェックポイント！

1. 習得・活用・探求という学習プロセスの中で、問題発見・解決を念頭に置いた深い学びの過程が実現できているかどうか。
2. 他者との協働や外界との相互作用を通じて、自らの考えを広げ深める、対話的な学びが実現できているかどうか。
3. 子どもたちが見通しを持って粘り強く取り組み、自らの学習活動を振り返って次につなげる、主体的な学びの過程が実現できているかどうか。

## 『自らの考えを広げ深める場面』での言語活動 実践例

文部科学省 思考力、判断力、表現力等を育むために 例えばこんな言語活動で授業改善 一部抜粋

### ペアで意見を交流する



児童生徒一人一人が自分の考えをもち、他者の考えとの共通点や相違点を意識しながら考えを深めていくような言語活動を充実させましょう。

### 自分の考えを文章にまとめる



児童生徒が集めた情報を整理・分析し、論理的にまとめて表現するような言語活動を充実させましょう。

### 立場を決めて討論する



児童生徒が自分でまとめた事柄などについて説明したり、相手の立場や考え方をお互いに尊重して話し合ったりするような言語活動を充実させましょう。

# 『主体的・対話的で深い学び』 授業改善7つのポイント

## ●単元・題材の指導計画

小学校第5学年 国語 『想像力のスイッチを入れよう』 学習指導案 一部抜粋

2	◎大まかな文章構成を把握し、事例と筆者の考えを読み分け、整理することができる。
3	文章構成をつかみ、事例と筆者の意見を整理しよう。
4	◎「想像力のスイッチ」という言葉に着目して文章を読み、筆者の考えに対する自分の考えをまとめることができる。
	筆者の考えに対する自分の考えをもとう。
5 本時	◎メディアとの関わり方について、3つの観点で自分の考えを文章にまとめる。
	メディアとの関わり方についての自分の考えを、文章にまとめよう。
6	◎メディアとの関わり方についてまとめた文章を、ペアやグループで読み合い、感想を伝え合うことができる。
	メディアとの関わり方についてまとめた文章を読み合い、交流しよう。

①単元の中に主体的・対話的で深い学びを組み入れる指導計画を作成する  
学習の経験を次の問題解決的な学習につなげられるような計画を！

②指導目標・指導内容を一体的に吟味する  
どのような教材を、どのような順序で、どのように身に付けさせるか！

## ●本時の目標と評価基準

目標	メディアとの関わり方について、自分の考えを文章にまとめることができる。
評価規準	<ul style="list-style-type: none"> <li>■メディアとの関わり方について、まとめようとしている。【関】</li> <li>■筆者に対する自分の考えをまとめている。【読】</li> <li>■友達の感じ方や考え方との共通点・相違点を確認している。【読】</li> </ul>

## ●本時の展開

導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>○単元の学習の流れを確認する。</li> <li>○前時までの振り返りをする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・～に共感した。</li> <li>・～は違うと思った。</li> <li>・自分も～な経験がある。</li> </ul> </li> <li>○本時のめあてを確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇単元の学習計画を確認させる</li> <li>◇自分のメモを確認させる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>①本文を読んで、共感したこと、疑問に思ったこと</li> <li>②自分の知識や経験などをもとにした考え</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▲単元の学習の流れを掲示する。</li> </ul>
	【めあて】メディアとの関わり方についての自分の考えを、観点にそって文章にまとめよう。		

③単元の導入での出会いを工夫する  
興味・関心を引くだけでなく、学習課題に直結する出会いを吟味！

⑤本時の課題とまとめ、その目標を実現するための学習活動に取り組む  
本時の課題を分かりやすく明示し、最後は課題に正対するまとめを行う！また話し合う際も目的意識を持たせた活動を！

④「見通す・振り返る」学習活動の充実  
本時、単元、年間などさまざまな視点での見直し、振り返りを意識した指導を意識！

⑥学習過程での子どもの自己決定を大切に  
活動の多様化。活動に対してどう迫るか考える段階から子どもに問うことも必要！

⑦学習状況の把握と見取りを確実に  
指導と評価の一体化！  
きめ細かな観察と変化・変容の見取りの精度を高め、次の指導に生かす！

<ul style="list-style-type: none"> <li>○交流</li> <li>○観点◎「今後メディアとどのように関わっていくか」について自分の考えをまとめる。</li> <li>*自分の考えをまとめる</li> <li>○書いた文章を読み返し、推敲する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇①②までの考えを基に、メディアとの関わりを考えるよう促す。</li> <li>◇文末表現について助言する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■筆者に対する自分の考えをまとめている。【読】</li> <li>▲今までのメモを振り返って考えるよう促す。</li> <li>□ワークシート</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○班で交流し、共通点・相違点を見つける</li> <li>○見つけたことを発表する。</li> <li>○本時の振り返りを行い、次時の確認をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇観点について触れられているか、文末表現は適当かチェックするよう指示する。</li> <li>・早く終わった児童同士でも推敲するよう指示しておく。</li> <li>◇同じ文章を読んでも、感じ方や考えが変わっていることに気付かせる。</li> <li>◇全体で発表・交流し、意見文を完成させることを伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■友達の見取りや考え方の共通点・相違点を確認している。【読】</li> <li>□ワークシート</li> </ul>

◎・これからは～したい。  
・～からメディアは一だということが分かった。